3　重点目標と具体的努力事項

重点目標	具体的努力事項	配慮事項
確かな学力の向上　チャレンジ	○ 児童のよさを引き出し、学ぶことが楽しいと感じる授業 ○ 考える力・読解力を伸ばす授業の展開 ○ 互いの考えや思いを伝え合う力を鍛える （聞く・書く・読む・話す：コミュニケーション能力） ○ノート指導・生活作文発表会・複式授業の工夫改善 ○ 個に応じた支援（児童理解） ○ 幼保小中連携教育の推進 （交流学習・学力向上） ○ 図書室やICTの有効活用 ○ 地域の特色を生かした体験活動の推進 ○ 家庭学習の習慣化 ○ つながり合い、地域に発信する力の育成	・「わかる・できる・ともに学ぶ」ことを意識した授業デザインの工夫 ・どの子にも分かる教材・教具の開発 ・学習ガイドの作成と活用 ・支援員の有効活用 ・的確な評価のあり方 ・意見や感想を堂々と述べる態度を育成 ・特別支援教育の研修 ・読書に親しむ多様な場の設定 ・ICT（特にタブレット）の有効活用 ・記録・作文内容の向上をめざす ・家庭・地域との連携 ・自学する力の育成 ・保護者・地域の方参加型の授業や行事
豊かな心の育成　スマイル	○ おそわっこ運動の推進 ○ 縦割班活動の推進（黙働清掃・栽培など） ○ 交流学習の推進（連携校・地域等） ○ 道徳教育の推進 ○ 人権尊重や共生、寛容な心を育てる ○ 不登校にさせないための、心の居場所や絆づくり ○ 家族や地域の一員としての役割、将来の仕事への希望 ○ AIが持つことのできない変化に対応できる人間的な魅力の育成	・笑顔あふれる学校づくり （例：タイムリーにほめる・短く叱る） ・適切な素早い対応は最大の誠意 ・各学級年１回の道徳の公開授業 ・「植物は光を浴びて育つ。人は言葉を浴びて育つ。」温かい言葉をかける。人権感覚を身につける。 ・個別の支援シートの活用 ・お手伝いの奨励 ・明るくきれいな学校作り （挨拶・清掃・ボランティア活動等） ・情報モラル教育の実践、情報の共有化 ・個性を生かす
健康な心身の育成　チャレンジ	○ 運動に親しみ、自ら体力を養おうとする態度の育成 ○ 心身の健康実態の把握 ○ 基本的生活習慣の定着と健康教育の充実 ○ 体力つくりの工夫と遊びのすすめ ○ 家庭との連携 ○ 安全・安心な学習環境の整備	・体育の授業やランランタイムの充実 ・困ったことや悩みを相談できる場づくり （教育相談週間の充実） ・歯みがきタイム、早寝早起き朝ごはん、食育等の継続 ・大休みや昼休みの外遊びの奨励 ・保健だより、スマートルール等で啓発 ・危機管理マニュアルの見直し ・心の居場所、絆づくりに配慮した学級や学校経営
信頼される学校づくり　スマイル＆チャレンジ	○ 教育活動の公開 ○ 各種通信やブログの充実 ○ 地域との連携（見守隊・公民館・読み聞かせボランティア・縄文の里料理研究会等） ○ 保護者との相談機会の設定 ○ 学校評価の実施と公表 ○ 地域の方々と連携した、ふるさとを知る学習の推進 ○ 児童、家庭、地域に寄り添った相談・協力	・学校公開日の設定（年１０回程度） ・地域・家庭へ学校情報の提供 ・地域行事への積極的参加奨励 ・特に週間を設けず、必要に応じて適宜実施し、SC等専門的な人材を活用する。 ・学校評価結果の公表と評価に基づく改善 ・地域人材を活用するとともに、SDGｓを意識した実践を発信する。 ・PTAとの報告･連絡・相談を密にする。